

馬主だより

第66号

平成26年8月15日

発行(一社)ばんえい競馬

馬主協会事務局

☆「世界唯一の」を武器に救世主となる新たな手法を！！

▼今年度のばんえい競馬開催も約三分の一が終了いたしました。インターネットや携帯電話を使って馬券を購入する「電話投票」の割合が発売全体の6割超。一方で場外馬券売り場に足を運んで直接購入する利用者は年々減少。また、本場に於いては相変わらず発売額の下げ止まりには至っていない。救いは年々増加している本場の入場人員ですが、帯広市が「世界唯一の」という枕詞で観光資源として発信してきた事が、売り上げ以外の効果として一定の役割を果たしているのは事実。▼6月16日には、今季初めての1億円突破の声をひさびさに聴きましたが、重賞競走のない平日月曜日の開催で1億円を超えたのは、いつ以来だったか??先日、8月10日(日)重賞競走「ばんえいグランプリ(BG1)」実施日には、2度目の1億円突破で今季売り上げ最高額となりました。▼更に売り上げを伸ばして行くには、やはり電話投票がターゲット。何故か地方競馬で唯一発売されていないJRA「IPAT」による発売が叶えば安定かつ持続的な財政基盤の確立に繋がるでしょう。▼一昔前の競馬は昼間のレースでしたが、近年ではナイト開催による電話投票の発売が全体の発売額を押し上げる要因となっている。▼さて、世界唯一のばんえい競馬、次の一手は競艇のような“モーニングレース”か、はたまた更に夜遅い時間帯での“ナイトレース”か、救世主となる新たな手法を“世界に先駆け”見つけ出せ！！

平成26年度 ばんえい競馬 発売成績(累計)

開催53日間

CB 事業推進課投票グループ資料提供

平成26年8月11日終了時

区 分	発 売 金 額							
	平成26年度			平成25年度		対 比		
	日数	発売額	予算額	日数	発売額	予算	前年	
本 場	53	511,210,100	462,181,200	53	544,099,500	110.61	93.96	
直営場外	旭川北彩都	53	309,743,400	285,749,700	53	322,932,600	108.40	95.92
	ミトスポット北見	53	134,778,100	146,404,700	53	166,902,800	92.06	80.75
	ハロンス岩見沢	53	88,538,500	83,198,700	53	107,805,400	106.42	82.13
	ハロンス釧路	53	43,446,600	37,886,400	53	47,464,700	114.68	91.53
	ハロンス名寄	53	44,105,800	42,450,300	53	53,752,400	103.90	82.05
	アブスポット網走	53	37,586,100	44,778,200	53	47,598,000	83.94	78.97
	琴似駅前	53	44,484,100	34,934,600	53	33,930,500	127.34	131.10
	イルムふかがわ	53	41,866,600	48,916,800	—	—	85.59	—
電投	オッズパーク	53	1,423,491,800	1,270,275,400	53	1,238,506,800	112.06	114.94
	OP(七重勝)	53	10,707,800	26,818,000	53	11,939,800	81.54	89.68
	OP(五重勝)	53	11,159,200		53	17,145,900		65.08
	競馬モール	53	909,322,000	732,558,500	53	676,598,500	124.13	134.40
	SPAT4	20	208,426,400	111,587,400	4	25,447,500	186.78	819.04
広域場間場外	—	393,393,300	343,968,800	—	463,194,000	114.37	84.93	
場外・電投計	—	3,701,049,700	3,209,527,500	—	3,213,218,900	115.31	115.18	
合 計	53	4,212,259,800	3,671,708,700	53	3,757,318,400	114.72	112.11	
1日平均		79,476,600	69,277,523		70,892,800	114.72	112.11	

平成26年度該当開催(ばんえい競馬第1回1日目～第8回6日目まで53日間)

平成25年度該当開催(ばんえい競馬第1回1日目～第8回6日目まで53日間)

会議等の様子

○ 平成26年度第2回執行役員会を開催！！

平成26年7月27日(日)午後1時30分から、当協会事務局会議室に於いて、平成26年度第2回執行役員会を開催いたしました。

今回は、6月に当協会の新執行体制が決まり初めての役員会で、当面の懸案事項等について審議をいたしました。

役員会では、競走馬弔慰金の給付に関し対象馬5頭について審議、原案のとおり可決承認されました。また、現状の発売成績や報償費の支給状況、競走馬の出走頭数等を確認し、8月の理事会に於いて帯広市との意見交換会を行うことから、出走手当基準額の増額を含む報償費改定の件、その他、総会やブロック懇談会で会員からの貴重なご意見、ご要望等の中から、帯広市に要請する事項について取り纏めを行いました。

【執行役員会議事】

- (1) 競走馬弔慰金の査定について
- (2) 発売成績及び報償費の支給状況等について
- (3) 帯広市意見交換事前打合せ
- (4) 債権差押え命令等の対応について
- (5) 平成26年度精液検査結果について
- (6) その他

【馬弔慰金支給対象馬】 5頭 2,700,000円

内 訳

(単位;円)

馬 名	年齢	馬 主	給付別	馬弔慰金
クラウンオー	4	木下英三	業務中	600,000
オーゴンシップ	3	佐藤範宏	業務中	500,000
マルオプリー	4	扇俊治	業務中	500,000
アイラブフクヒメ	7	松本繁忠	業務中	500,000
タマガタモンダ	4	駒井正人	業務中	600,000

○ 平成26年度第3回執行役員会、第3回理事会を開催！！

～市との意見交換で出走手当基準額の増額を要請する～

平成26年8月3日(日)午前11時30分から、当協会事務局会議室に於いて平成26年度第3回執行役員会を開催。当日午後から開催予定の第3回理事会で審議する事項等について事前協議をいたしました。

また、午後1時30分から平成26年度第3回理事会を開催。会務の執行状況等の報告の他、当日午後3時から帯広市ばんえい振興室との意見交換に先立ち、事前に当協会としての意見集約を行いました。

その中でも、今年度第8回開催までの発売成績や報償費の支給状況を踏まえ理事会に於いて種々審議の結果、何としても現状の競走馬減少に歯止めをかけ、1日11レースを堅持するためにも、出走手当基準額の更なる増額について、早急に改定するよう帯広市に要請することとなりました。

帯広市との意見交換では、帯広市から馬の出走頭数の減少等により、報償費の予算額に対して、現在執行状況が下回っていることから、第11回開催以降報償費等の改定(案)について説明がありました。当協会では、今後のレースへの影響を懸念し、特に2歳C級以下の出走手当については、第11回開催以降36,000円に変更となることから、優先的に現行の40,000を第11回開催以降も維持するよう要請。

加えて、今後の出走頭数確保を念頭に、3歳以上の1出走目及び2出走目の出走手当について、多くの馬主は預託料に見合う程度の出走手当を希望していることから、現行出走手当の基準額を早急に見直し増額するよう要請しました。

これに対して、帯広市は2歳C級以下の出走手当維持と、調教師、騎手、厩務員の奨励金の増額を最優先に検討し、残る財源について試算をしたうえで、3歳以上の出走手当が幾らに改定できるか、検討することとなりました。

※ 検討の結果、第11回開催以降、別紙「報償費等の改定について」のとおり出走手当の金額が変更となります。

その他、現在、競馬場に入りゆうしている競走馬以外のポニーについて、当面の間については管理、防疫体制等厳格な運用を図り、今後一定の時期を定め入りゆうを禁止する旨、帯広市から説明がありました。

【第3回理事会議事】

- | | |
|-----------|---|
| 日程1 報告第1号 | 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況について |
| 報告第2号 | 競走馬弔慰金の給付額決定について |
| 報告第3号 | 国内産農用種雄馬購買の精液検査結果について
(第一次予備選抜結果) |
| 日程2 報告第4号 | 発売成績及び報償費の支給状況等について |
| 協議案第1号 | 帯広市意見交換事前協議について |
| 日程3 その他 | ① イベント企画(案)について
・「JRAジョッキーDAY2014」イベント
・ばん馬まつり協賛イベント「おみくじ馬券プレゼント」 |

情報・ご案内

○ 帯広市副市長人事 田中敬二ばんえい振興室長が副市長へ起用！ ～室長の後任に佐藤徹也同室次長を登用～

帯広市の米沢則寿市長は、6月24日、7月6日の任期満了に伴って本迫哲(65)、島野幸也(56)両副市長が退任、後任に前田正明総務部長(58)と田中敬二農政部ばんえい振興室長(56)を起用する方針を固め、同1日に開催された定例市議会に於いて人事案を提案し副市長選任に同意した。

両氏の担当事務は、前田氏は、市長職務代理順位が第1順位で、総務部、市民活動部、市民環境部、都市建設部、会計課(会計管理者に属する事務を除く)の他、教育に関する事案を受け持つ。また、田中氏は、市長職務代理順位が第2順位で重点政策の「フードバレーとまち」を担当、政策推進部、保健福祉部、こども未来部、商工観光部、農政部、産業連携室、消防本部、十勝圏複合事務組合、十勝中部広域水道事業団も所管し、ばんえい競馬も田中氏が担当となる。

また、同2日には、部長職の異動で、後任のばんえい振興室長に、同室次長の佐藤徹也氏(52)が昇任され7月7日付け発令を発表した。

○ **夏の風物詩 ばんえいビアガーデン今年も始まる！！ 8月31日まで
～ばんえい競馬開催日 毎週土、日、月曜日に営業～**

毎年この時期恒例の夏の風物詩“ばんえい十勝ビアガーデン”が7月12日(土)から始まっております。多くの家族連れや友人同士が訪れ、ビールジョッキを片手にばんえい競馬のレースを楽しんでいます。

競馬場のビアガーデンは、毎週ばんえい競馬のレースが開催される土曜、日曜、月曜日の午後4時半から午後8時半まで(ラストオーダーは午後8時)。スタンド前には約100席が設けられ、雨天でもスタンド南東側(屋根付き)でOK！！

是非、皆様もお誘いあわせのうえ、迫力満点のレースを観戦しながらビールで喉を潤してください。団体(10人以上)の予約も受け付けております。

お気軽に下記までお問い合わせください。

【座席数】最大100席(スタンド前)

【料 金】チケット2,000円、ビール前売り券2,000円

【予約先】株式会社北海興農ビジネスまで

電話 0155-35-6150

○ **ばんえい競馬収益金の一部を公営企業納付金として納付
“地方債利下げに”活用！！**

公営競技の主催者は、一定以上の収益があった場合には、地方公共団体金融機構が運営する「公営競技納付金」として収益金の一部を翌年度に納付しなければならないという制度があります。

この制度により納付されたお金を、地方公共団体健全化基金に積み立てて、その運用益を地方自治体が活用する地方債(貸付利率の引き下げ財源)に充てている。

納付要件については、発売額から40億円を控除した残額の1%、もしくは収益から7000万円を控除した残額の半額で、いずれか金額の少ない方が適用される。

ばんえい競馬の2013年度の発売額は、116億6264万円、収益は9958万円なので、収益から7000万円を控除した残額の半額で約1500万円を納付することとなります。

4市で開催されていたばんえい競馬に於いては、過去に「公営企業金融公庫」(現在の地方公共団体金融機構の前身)へ収益の一部を収めていた時期もありましたが、帯広市単独開催以降では初めての納付。支払については、今年の11月末までとなっています。

○ **「柳月杯 第26回ばんえいグランプリ」ファン投票最終結果発表
～第1位は得票数558票昨年度ばんえい記念覇者“インフィニティー号”！！～**

2014年8月10日(日)に開催される重賞競走「柳月杯 第26回ばんえいグランプリ」(BG1)の出走馬を決めるファン投票が行われました。

投票の結果、第1位は昨年度「ばんえい記念」の覇者インフィニティー号(牡8歳)が558票、第2位はばんえいグランプリ初出走となるオイドン号(牡6歳)で548票、第3位は今季「ばんえい十勝オッズパーク杯」を制したキタノタイショウ号(牡8歳)で544票となりました。応募期間は、7月5日～21日まで行い、投票総数は帯広競馬場、直営場外発売所及びインターネットで、昨年の6,102票を上回る6,318票となり

ました。

投票上位 7 頭に番組賞金上位 3 頭を加えた 10 頭が出走権を獲得。真夏の頂点をめぐって熱い戦いが繰り広げられます。上位 20 頭は次のとおりです。

【ファン投票結果（上位 20 頭）】

出走回避馬が出た場合はファン投票次点の馬が繰り上がりとなります。

順位	馬名	性齢	得票数	主な勝鞍
1	インフィニティー	牡 8	558	2013 北斗賞、2014 ばんえい記念
2	オイドン	牡 6	548	2010 ナナカマド賞、ヤングチャンピオンシップ、2011 ばんえいダービー、2012 はまなす賞、2013 天馬賞
3	キタノタイショウ	牡 8	544	2009 イレネー記念、ばんえい菊花賞、ばんえいダービー、2010 銀河賞、2011 天馬賞、2012 北斗賞、2013 ばんえい十勝 OP 杯、旭川記念、2014 チャンピオンカップ、ばんえい十勝 OP 杯
4	クロフネオーザン	牡 10	462	
5	トレジャーハンター	牡 7	318	2011 ポプラ賞、2013 ドリームエイジカップ
6	アオルクサス	牡 8	297	
7	ニュータカラコマ	牡 6	284	2011 イレネー記念、2012 銀河賞、2013 ポプラ賞、岩見沢記念、2014 北斗賞
8	ギンガリュウセイ	セン 10	227	2011 北見記念、2012 ばんえいグランプリ、北見記念、2013 北見記念
9	オレノココロ	牡 4	203	2013 ばんえいダービー、2014 ポプラ賞
10	フジダイビクトリー	牡 6	184	2011 ばんえい菊花賞、2012 柏林賞、2014 旭川記念
11	ホッカイヒカル	牡 10	170	2008 柏林賞、2012 ばんえい十勝 OP 杯、2013 チャンピオンカップ
12	シベチャタイガー	牡 10	148	2007 ばんえい菊花賞、2008 銀河賞
13	ナナノチカラ	牝 4	133	2013 黒ユリ賞、ばんえいオークス
14	ホクショウユウキ	牡 5	130	2013 柏林賞、はまなす賞、銀河賞、2014 天馬賞
15	フクドリ	セン 8	113	
16	ニシキエーカン	牡 5	100	2012 イレネー記念
17	コウシュハウカイ	牡 4	99	2013 ばんえい菊花賞
18	ブラックボス	牡 5	93	2011 ナナカマド賞、ヤングチャンピオンシップ、2012 ばんえい大賞典
19	アアモンドマツカゼ	牝 6	88	
20	ウメノタイショウ	牡 9	79	

○ 今年も“JRA ジョッキー” 帯広競馬場に集結！！

～ミスターXを含む精鋭 10 人がエキシビジョンレースに挑戦！～

帯広競馬場単独開催となった2007年から毎年実施している「JRAジョッキーDAY」イベントは、今年も実施いたします。今では毎年恒例となり、これを楽しみにしているファンも大勢います。

今回で8回目となりますが、これまでも多くのJRA日本中央競馬会の精鋭ジョッキ

一が帯広競馬場にご来場のうえ、ばんえい競馬を盛り上げていただいております。
今年も楽天グループ(楽天銀行、楽天市場、楽天トラベル、楽天オークション、楽天競馬)様の全面的な協力を得て、エキシビジョンレースをはじめトークショー、クイズなど多彩なイベントをご用意し、ばんえい競馬のみならず多くの競馬ファンに楽しんでいただける内容となっております。皆様も是非ご来場のうえ、応援をお願いいたします。

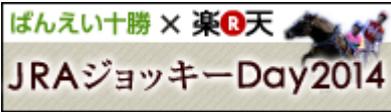
1. イベント実施日 2014年8月25日(月)

2. 来場ジョッキー(敬称略。あいうえお順)

騎手氏名	通算成績 2014年8月10日現在 JRA主催の成績のみ	2013年度JRAリーディング および過去の主な優勝馬
荻野 琢真【2回目】 (おぎの たくま)	2,258戦 101勝 (重賞1勝)	2013年度JRAリーディング70位 日経新春杯〔テイエムプリキュア〕など
勝浦 正樹【8回目】 (かつうら まさき)	11,024戦 723勝 (重賞13勝)	2013年度JRAリーディング19位 函館スプリントS〔パトロワ〕 朝日杯フューチュリティS〔ゴスホークケン〕など
小林 徹弥【3回目】 (こばやし てつや)	7,087戦 372勝 (重賞5勝)	東海S〔ヤマトマリオン〕 シルクロードS〔ゲイリーフラッシュ〕など
藤田 伸二【7回目】 (ふじた しんじ)	14,776戦 1,893勝 (重賞93勝)	2013年度JRAリーディング20位 フェブラリーS〔トランセンド〕 天皇賞(春)〔ヒルノダムール〕など
松岡 正海【6回目】 (まつおか まさみ)	7,838戦 651勝 (重賞26勝)	2013年度JRAリーディング39位 中山牝馬S〔マイネイサベル〕 ダービー卿CT〔トウケイヘイロー〕など
黛 弘人【初出場】 (まゆずみ ひると)	2,558戦 85勝	2013年度JRAリーディング58位 轟ステークス〔レオパステル〕など
丸田 恭介【2回目】 (まるた きょうすけ)	4,348戦 269勝 (重賞1勝)	2013年度JRAリーディング33位 福島記念〔ダンスインザモア〕など
丸山 元気【2回目】 (まるやま げんき)	3,633戦 270勝 (重賞2勝)	2013年度JRAリーディング27位 函館2歳S〔クリスマス〕 新潟大賞典〔セイクリットバレー〕など
吉田 隼人【2回目】 (よしだ はやと)	7,341戦 568勝 (重賞7勝)	2013年度JRAリーディング16位 新潟大賞典〔ユールシンギング〕 アルゼンチン共和国杯〔ミヤビランベリ〕など
ミスターX	???	????

※来場ジョッキーは都合により変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

3. イベント（予定）

項目	内容
エキシビジョンレース	JRA ジョッキーがばん馬の曳くそりに乗って模擬レースを実施。 2 回実施し、合計得点で優勝を争います。 普段の騎乗とは全く違う各ジョッキーの腕試しをお楽しみ下さい。
エキシビジョンレース 騎乗馬抽選会	自身が騎乗する馬を抽選で決めます。レースに対する意気込みなどトークを交えて行われます。
レース協賛	来場された各ジョッキーによるレース協賛。 ジョッキー自身で表彰式のプレゼンターおよび優勝馬との記念撮影に参加します。
ミスターXは誰だ!?	今年も謎の男がやってくる!? いったい誰なのか!? 当日のミスターXのステージで明かされます。 「ミスターXは誰だ!？」予想大会など、ファン参加型イベントも同時開催。
楽天競馬キャンペーン	インターネット特設サイト等において協賛各社によるキャンペーンを実施します。 <特設サイト>  URL : http://keiba.rakuten.co.jp/event/jrajockeyday2014

※イベント内容は事情により変更となる場合があります。

レース情報

○ 重賞競走の結果

月 日	重 賞 名	馬 名	馬 主	調教師
6 月 22 日	第 8 回 柏林賞	ダイコクパワー	(有)トヨファーム	松井 浩文
7 月 13 日	第 22 回 北斗賞	ニュータカラコマ	佐藤 久夫	村上 慎一
7 月 27 日	第 26 回 はまなす賞	コウシュハウンカイ	広瀬 豪	大友 栄人
8 月 10 日	第 26 回 ばんえいグランプリ	フジダイビクトリー	(有)三上建設	皆川 公二

優勝おめでとうございます！！

◆ 第 8 回柏林賞（4 歳オープン）

単勝 4 番人気のダイコクパワーが優勝。悲願の重賞初制覇を果たしました。

もっとも重量を課せられたオレノココロが 720 キロ、最低重量がコウシュハクween、クインフェスタ、セイコークインの 680 キロ(牝馬 20 キロ減を含む)と、最大 40 キロ差がついた一戦。このハンデ差が、馬場水分 2.7%の舞台でどう作用するかが焦点となりました。

道中はオレノココロ、ダイコクパワー、コウシュハクweenあたりが先行。オホーツクノタカラとナナノチカラがやや離れて追走しましたが、他馬はほぼ横一線で第 2 障害を迎えました。

各馬じっくりためたのち、最初に動いたのはショウチシマシタ。それを合図に他馬もいっせいに仕掛けます。ヒザを折る馬も出ているなか、最初に登り切ったのはコウシュハウカイ。やや遅れてダイコクパワー、オレノココロ、コウシュハクweenもクリアし、追撃態勢に入りました。

先頭に行くコウシュハウカイの脚いろは上々でしたが、追ってきたダイコクパワーがそれを上回る瞬発力を発揮。1 歩ずつ差を詰めにかかります。そして残り 10 メートルでコウシュハウカイに並び掛けると、勢いそのままにこれを抜き去り、1 馬身ほどの差をつけてゴールしました。1 秒 3 差の 2 着にコウシュハウカイ。障害 7 番手から猛追したナナノチカラが 3 着で入線しました。

ダイコクパワーは今回、牝馬のなかでは最低重量の 690 キロでした。牝馬 20 キロ減を考慮すれば、もっとも軽い重量で出走したことになり、そのハンデ差が末脚の差に直結したといえるでしょう。ただ、これまでもはまなす賞で 2 着、ばんえいダービー 4 着などがあり、この世代での力上位は疑いのないところ。今後の重賞でも、重量や展開次第で好勝負を演じてくれることでしょう。

◆ 第 22 回北斗賞（3 歳以上オープン）

単勝 2 番人気のニュータカラコマが優勝。昨年の岩見沢記念以来となる、重賞 5 勝目を挙げました。

混迷しているばんえいオープン界を象徴するような人気の割れ方で、状態の良し悪しが結果に直結しそうな印象。馬場水分 2.5%という多少力の要る中でゲートが開きました。

ホツカイヒカルの行き脚がつかず後方からとなりましたが、他馬は砂煙を巻き上げながら横一線。キタノタイショウ、ホリセンショウ、フジダイビクトリーあたりが入れ替わりながらゆったりと進み、勝負どころの第 2 障害を迎えました。

じっくりと脚をためたのち、フジダイビクトリーとホリセンショウが登坂を開始。インフィニティーもこれに続きます。しかし遅れて仕掛けたニュータカラコマが抜群のかかりを見せて一気に天板まで駆け上がると、そのままひと腰で障害を突破しました。多少遅れてホリセンショウがクリアし、これにフジダイビクトリー、インフィニティーが続きました。

しかし、ニュータカラコマの逃げ脚は軽快。藤野騎手の手綱もほとんど動かない状態で着実に歩を進め、他馬をまったく相手にしないワンサイドレースを展開。結局ゴールでは 10 秒近い差をつけ、先頭で荷物を運び切りました。2 番手追走のホリセンショウはその後苦しくなり、残り 20 メートル付近でこれをかわしたフジダイビクトリーが 2 着。障害 6 番手から追い込んできた 1 番人気のオイドンが 3 着で入線しました。

ばんえい十勝オッズパーク杯と旭川記念でともに4着に敗れたニュータカラコマですが、大きく崩れていなかったのも確か。今回見せた抜群の登坂、そして障害後の軽快な脚どりからも今の状態の良さがうかがえました。今後も状態をキープできれば、さらにタイトルを積み重ねていくに違いありません。

◆ 第26回はまなす賞（3・4歳オープン）

単勝2番人気の4歳馬コウシュハウンカイが優勝。ばんえい菊花賞以来となる重賞2勝目を挙げました。

地力にまさる4歳馬か、ハンデが魅力の3歳馬か。どちらに主眼を置くか判断に迷うメンバー構成となりましたが、結局は11戦連続3着以内の3歳馬カイシゲキ(670キロ)が1番人気。ほとんど差なく4歳馬のコウシュハウンカイ(710キロ)が続き、やや離れて4歳牝馬のコウシュハクィーン(680キロ)というオッズに。この重量差が、馬場水分4.8%という軽めの状態でどのように影響してくるかが焦点となりました。

軽い馬場もあって、道中は息の入らない展開。障害中間点を過ぎてようやく脚を止める馬も出てきましたが、半数近くの馬がノンストップで第2障害下までたどり着きました。

ひと呼吸入れて仕掛けたのはコウシュハウンカイで、ほぼ同時にカイシゲキ、オレノココロも登坂を開始。それを見て、他馬も動き始めます。しかし、カイシゲキとコウシュハウンカイが抜群のかかりを見せて突破。1度ヒザを折ったオレノココロもすぐに立て直し、この3頭が横並びで障害を下っていきました。やや離れてコウシュハクィーンもクリアし、勝負の行方はこの4頭に絞られました。

軽量にモノを言わせてカイシゲキが逃げ切りを図りますが、コウシュハウンカイも4歳馬の意地を見せるかのように食い下がります。そして残り20メートル付近から徐々にカイシゲキの脚いろが鈍り、一步ごとにコウシュハウンカイが差を詰めると、残り5メートルで完全に併走状態に。こうなれば底力にまさるコウシュハウンカイ。最後はきっちり1秒差をつけて、2つめのタイトルを手に入れました。障害を下りてからジワジワと脚を伸ばしたコウシュハクィーンが2着から1秒1差の3着に入り、人気サイドでの決着となりました。

最後はまさに底力。4歳世代を牽引してきたコウシュハウンカイが、小差で敗れた前走・柏林賞のうっぷんを晴らすかのように快勝しました。トップハンデではなかったものの、今回もそれなりに課せられた中での快勝劇。軽い馬場ながら軽ハンデ馬をきっちり捕らえきった内容も良く、レース運びに安定感が出てきた印象も受けました。今後もその安定感を武器に、重賞戦線で好勝負を演じてくれることでしょう。

◆ 第26回ばんえいグランプリ（3歳以上選抜）

単勝2番人気のフジダイビクトリーが優勝。重賞4勝目を挙げるとともに、今季の充実ぶりを見せつけました。

勢いのある6歳馬3頭フジダイビクトリー、オイドン、ニュータカラコマに対し、インフィニティー、キタノタイショウといった実績馬がどう立ち向かうか。直前の雨で3.3%に上昇した馬場水分のなか、スタートが切られました。

馬場水分が上がったことで、各馬ともあまり息を入れずに障害中間点を通過。アオルクサストレジャーハンターが馬群を引っ張りますが、他馬も遅れず追走し、6、7

頭が横並びの状態第 2 障害を迎えました。

トレジャーハンター、インフィニティー、フジダイビクトリーがほぼ同時に動き、これを見てアオルクサスも登坂を開始。なかでもフジダイビクトリーが抜群のかかりを見せて障害を登り切り、さらにトレジャーハンターもクリア。やや遅れてインフィニティーも突破し、以下ニュータカラコマ、キタノタイショウと続きます。

しかし先頭はフジダイビクトリー。残り 20 メートル付近で敢然と抜け出し、2 馬身ほどのリードで終盤を迎えます。しかし、そうはさせじと鋭く伸びてきたのがキタノタイショウ。ジワジワと差を詰め、残り 10 メートルで射程圏、残り 5 メートルで馬体を併せにかかります。しかし、フジダイビクトリーもしぶとい粘りを発揮。二の脚を使ってこれを振り切ろうと、懸命に歩を進めました。その結果、わずかにフジダイビクトリーが凌ぎきり、夏のグランプリホースに輝きました。キタノタイショウはよく追い込んだものの、わずか 0 秒 5 差で無念の 2 着。3 着には先団からジワジワと伸びたニュータカラコマが入線しました。なお 1 番人気のオイドンは、障害で苦戦を強いられて 5 着に敗れました。

勝ったフジダイビクトリーは今年の旭川記念に続く重賞 4 勝目。今季はこれで【4・4・1・1】と抜群の安定感を見せており、いよいよ本格化。6 歳トリオのなかでも特に安定したレースを見せており、頭ひとつ抜け出した印象です。今後も多少湿ってややスピード寄りの馬場になった際には好勝負を演じてくれることでしょう。

キタノタイショウは今季のばんえい十勝オッズパーク杯を制したのち、今ひとつのレースが続いていましたが、ここで復活ののろし。重賞 10 勝の実績はダテではなく、ここから巻き返してくれるに違いありません。

ニュータカラコマは前走で 7 着に敗れていましたが、巻き返しての 3 着。高重量にも対応できるだけに、基礎重量が重くなってくるこれからが、この馬のシーズンともいえるでしょう。さらなる活躍を期待したいところです。

※ レース情報の内容につきましては、ばんえい競馬情報局より抜粋しています。